



令和7年度 決算特別委員会が開かれました

高齢者が 外に出やすい “元氣なすみだ”へ



補聴器購入費助成は23区で最下位水準、シルバーパスは課税者の負担が重く利用をためらう方も多い。こうした背景から、私は助成対象範囲の拡充・負担軽減を提案しました。あわせて区北部における投票所空白地帯の解消や、外出を後押しするベンチマップの拡充など、高齢者が安心して外出できる環境へ、議論を進め

恥ずかしがらず 相手に伝える力 育む教育と予防医療



真のコミュニケーション能力育成のため、臆せず自分の考えを伝える英語教育の充実と思考力を鍛える取り組みを教育長へ質問。予防医療では、男子への9価HPVワクチン助成対象拡充、妊婦へのRSウイルスワクチン助成、生涯の口腔健康維持のための更なる成人歯科検診受診勧奨とクリーニング導入について検討状況を質します

再生可能 エネルギーの 活用について



本庁舎において100%再生可能エネルギーの活用と新電力の導入を行った場合、令和6年度決算における電気料金支出額と比較して、約15%、金額にして約2000万円の削減効果が見込まれるとのことで、早期導入と全公共施設への展開を求めました。

令和6年度各会計歳入歳出決算に 対する会派意見開陳

（開陳者：大門しろう委員）

令和6年度はポストコロナの転換期にあり、「つながりが織り成す『人』が輝くまち～明日の“すみだ”を共創する予算～」を理念として編成され、地域の絆と活力を取り戻し、持続可能な未来を共に創り上げる一年となった。行財政改革やDX推進、こどもまんなかすみだ、共創型まちづくり、多様な「つながり」や未来を見据えたまちづくりなどが着実に進展。今後は気候変動や物価高騰など社会環境の変化に的確に対応し、持続可能で強固な財政基盤の確立を強く求め、認定す

デジタル商品券 事業の地域還元と 利便性改善



地域還元：商店街連合会の運営により、地域活動を担う加盟店や賛助会員、大型店での利用を通じた区内還元バランスを評価しました。商店街加盟促進の一助にもなっています。
・要望：区内還元強化は評価しつつ、使いやすいさの継続的な改善すること。今後もベストバランスを模索すること。

個別避難計画 策定のための庁内 専門部署の設置を！



他区に比して策定の遅れが目立つ個別避難計画の状況を踏まえ、「要配慮者支援課」等の専門組織を庁内に設置することについて区長の考えを問いました。区長からは「3.4%という策定率の低さを認識し、抜本的な対策が必要と考えている。令和8年度に向けて組織改正を含めた検討を行う方針」との答弁が



坂井 ユカコ

☑ 自由民主党・無所属 幹事長
☑ 議会運営委員会 委員長
🏠 東駒形2丁目2-4
☎ 090-3617-4313



しもむら 緑

☑ 子ども文教委員会 委員
🏠 亀沢4丁目22-8-608
☎ 080-2443-0212



佐藤 篤

☑ 墨田区議会議長
🏠 京島3丁目9-10-101
☎ 090-8567-8293



福田 はるみ

☑ 子ども文教委員会 委員長
🏠 業平4丁目5-16
☎ 03-3618-6125



井上 ひろき

☑ 自由民主党・無所属 副幹事長
🏠 文花2丁目4-7-2F
☎ 070-8998-9021



あべ よしたけ

☑ 墨田区基本計画調査委員会 副委員長
🏠 京島3丁目53-2
☎ 090-9324-1582



大門 しろう

☑ 企画総務委員会 副委員長
🏠 文花2丁目3-7
☎ 080-4128-6594



堀 よしあき（無所属）

☑ 企画総務委員会 委員長
🏠 墨田4丁目19-10
☎ 090-7218-9569

9月30日付で瀧澤正宜議員は
当会派を退会しました。

議員政治倫理調査特別委員会
が閉会いたしました。この間の
当会派の対応、委員会審査報
告書の受け止め等については
こちらからご覧いただけます。



小林 しょう

☑ 区民福祉委員会 副委員長
🏠 東向島6丁目48-8-102
☎ 090-8174-1663



稲葉 かずひろ

☑ 議会改革特別委員会 副委員長
🏠 吾妻橋1丁目23-20（自民党控室）
☎ 080-9462-1989



加藤 ひろき

☑ 自由民主党・無所属 副幹事長
🏠 東向島3丁目15-21-502
☎ 090-5399-0322

会派HP



Facebook



YouTube



墨田区議会HP



本会議の
動画は
コチラ！

スマホやパソコンで
議会活動をご覧いただけます。

お気軽にご意見をお寄せください。
墨田区議会自由民主党

🔍 <https://jimin-sumida.jp/>

代表質問



井上ひろき議員



動画は
コチラ

民泊・旅館業の 対応について

問 新条例の実効性を高めるため、関係部署横断の取り組みをどう具体化するのか。

旅館業への転換に伴う構造設備基準の適切な運用や現地調査の強化を通じ、安全・健全な宿泊管理体制を確保するための方針を伺う。

答 ①関係部門プロジェクトチームを設置し、運営状況把握と迅速対応を図ります。

②旅館業法施行条例改正により、従業員の常駐等を義務付け、適正管理を促進、建築物の構造設備チェックも、届出・許可申請時の運用ルール厳格化を図ります。

③今年度からの調査員配置強化により、約2割で標識未揭示等の課題を確認。今後は標識掲示指導等で適正運営を確保します。

④新条例制定後は、監視指導の強化で実効性を担保します。適法・違法の線引きは、届出・許可の有無により明確に行い、違法事業者への重点的な監督を強化します。

抜本的な熱中症 対策について

問 区民への周知・啓発活動の強化について、具体的施策を伺う。事業者支援とデータ活用を通じた対策強化、職員への現行施策の実績と今後の拡充方針は。

学校改築における夏季プール困難化を見据えた計画的整備、猛暑期への配慮と工期のすり合わせの徹底は、行事・イベントの開催時期・方法の気候変動対応、総合的な熱中症対策の推進について所見を伺う。

答 ①区民の行動変容を促すため、町会・自治会等、関係団体・事業者と連携した啓発活動を一層推進します。

②関係団体要望を踏まえ、事業者が活用可能な補助制度を検討します。

③職員には、アイスベストの貸与等、安全な環境づくりを実施。今後は屋外業務職員の予防対策周知に加え、空調服の導入を他自治体の効果も踏まえ検討します。

④学校改築は、公共施設マネジメントや地域ニーズも踏まえ、教育委員会と連携して検討を進めます。工期については、猛暑期への配慮や行事を考慮した施工業者とのすり合わせを徹底します。

⑤熱中症警戒アラートを通じ、施設管理者等へ予防の呼びかけを行います。

⑥今年度策定する第三次すみだ環境の共創プランに、気候変動対策と熱中症対策を明記し、普及啓発に取り組み、総合的な対策を推進します。



デジタル施策について

問 現時点での生成AI・RPAの導入成果と課題、今後の展望について具体的に伺う。

デジタル時代にふさわしい行政運営を実現するための組織体制強化について、専門部署新設の検討や職員研修の体系化を含めた所見を伺う。

答 ①生成AI・RPAの活用導入効果として、RPAを活用した税務課の業務削減は3年間で9800時間に上り、生成AIも600名以上の職員が文書作成支援などで活用し、業務負担の軽減が図られています。今後の課題は、RPAを活用する業務の拡大、業務知識に基づいた生成AIの導入、セキュリティリスクを踏まえた活用ルールの浸透です。今後は、新端末でのRPAツールの活用と業務プロセスの見直し、生成AIのRAG技術の実証実験を実施し、国等の動向を踏まえた調達・運用のルール作りとその周知に取り組み、区民サービス向上と職員の働き方改革に資する技術として積極的に活用を推進していきます。

②組織体制の強化

現在、本区ではCIOを中心とした体制のもと、デジタル部門がDXの推進と管理運用を一貫して所管することで、基盤構築と機運の醸成を図ってきました。専門性を持った人材確保として、今年度はICT職の採用、都ICT職の派遣受入れ、Growth東京を通じたデジタル専門人材の採用などを行っています。今後の課題は、デジタル技術を活用して行政課題を解決できる内部人材の育成です。これまでDX研修を実施してきましたが、AI活用やデータ分析など、時代に即した知識を職員が身につけられる環境整備についても検討を行っています。引き続き、専門人材の登用と内部人材の育成を両輪として、デジタル施策を効果的に推進できる組織体制の強化に努

一般質問



しもむら緑議員



動画は
コチラ

区独自の給付型奨学金制度 等の創設について

問 家庭の経済状況に左右されず意欲ある子ども達が望んだ教育を受けられる環境整備が重要ではないか。区独自の給付型奨学金制度の創設と、幼稚園教諭や医療系など人材不足分野で卒業後一定期間区内勤務を条件とした地域還元型支援制度の可能性について見解を伺う。

答 墨田育英会の奨学金貸付制度のほか、国や都の制度があることから、周知に努めるとともに実現可能性を検討していきます。地域還元型の制度設計については、本区に適した在り方を検討していきます。

オンラインカジノの違法性周知 と依存症予防教育について

問 オンラインカジノの違法性について積極的な周知啓発を行うべきと考えが所見を伺う。また、ギャンブル依存症は精神疾患であるが、子ども達がオンラインゲームを入口として依存症に陥るケースも報告されている。小中高での一貫した予防教育が必要だが教育長の考えを伺う。

答 ギャンブル等依存症対策基本法の改正もあり、違法性について警察と連携し周知啓発に努めます。早期からの予防教育は重要である。学校では依存症や情報リテラシーを指導し、関係機関と連携し取組をすすめていきます。

常任委員会TOPICS



地域産業都市委員会

あべよしたけ委員 佐藤篤委員 加藤ひろき委員

区内循環バス事業見直しについて

乗降客数減少や交通渋滞対策など見直しを検討しなくてはならないことに理解を示しながらも、双方向運行の要望が多いなかでルートを短縮し一周の所要時間を短くすることや渋滞対策で単純にルートを変えるということでは終わらないこと、また声の届きづらい区民にも説明会の案内を丁寧に言い、理解を深められる意見交換を行なっていくことを求めました。

「すみだ良質な集合住宅認定制度」の見直しについて

認定制度を進化させようとしていることに評価をしながらも、事業者にとっては単身世帯向け集合住宅を作る方が収益性が高いという事実のなかで、収益差の一部を補填する今回の補助で事業者がファミリー向け住宅を作る判断をされるか想定を示すよう依頼。また広い住戸を供給しても高額で子育て世帯が住めないことを防ぐため、認定住宅の入居支援や区内住宅取得への転居支援などソフト施策の充実を提言しました。



企画総務委員会

大門しろう副委員長 堀よしあき委員長 坂井ユカコ委員

区長車・議長車の実用的な脱炭素化について

区長車・議長車は、現在燃料電池車を導入していますが、水素ステーションが遠く、災害時や遠方での公務対応に支障をきたす恐れがあります。環境啓発には引き続き活用しつつ、実用性とコストの両立を図るため、区長車・議長車のハイブリッド化を提案しました。

公契約条例に関する付帯決議への対応報告について

墨田区公契約条例の施行にあたり、区議会では付帯決議により、労働者への労働報酬の支払状況を定期的に議会へ報告することとしました。我が会派は、決算特別委員会での質疑対象とできるよう、9月議会での報告を要請しており、初の報告がなされました。今回は、条例第11条に基づく労働者等からの申出状況について報告があり、「これまでに申出等はなかった」とのこと。今後も、申出状況を継続的に把握し、必要に応じて条例改正を含む実効的な対策の検討をするよう求めました。

特別委員会TOPICS

高齢者対策特別委員会

活発な委員会活動を行っています！

5月の設置以降、「長寿社会」をテーマとした有識者による研修会や、日頃地域のために活躍されている墨田区老人クラブ連合会及び民生委員の皆様との意見交換会、さらには独居高齢者支援やエンディングプラン作成支援事業等の先進事例を学ぶための他自治体への行政視察を開催する等、活発な委員会活動を行っています。区では、令和6年3月に「墨田区高齢者福祉総合計画」を策定し、具体的な取組を進めていますが、特に身寄りのない高齢者への支援に関する課題は山積しています。今後は研修等で見聞きた内容を本区の実情に落とし込んだ政策として取りまとめ、区長に政策提言を実施します。

墨田区基本計画調査特別委員会

墨田区基本計画特別委員会について

墨田区基本計画特別委員会では、区政運営の最上位計画となる「基本構想」と、今後10年間の区の方角性を示す「基本計画」について、策定から進管理まで幅広く議論しています。人口減少や少子高齢化、子育て支援、福祉、防災対策、まちづくり、産業振興、さらには行政のデジタル化など、区の将来に直結する多岐にわたる分野が対象です。地域の課題や現場の声を踏まえながら、将来の墨田区がより暮らしやすく、持続可能なまちとなるよう、委員会として丁寧かつ実効性のある審議を重ねています。

議会改革特別委員会

ハラスメント相談窓口の設置について

現在、墨田区議会においては、不祥事等が発生した際に対応するための諸規定がありますが、ハラスメント等に係る職員及び議員の相談窓口を設置について、その対象範囲や相談員等について検討を行いました。

特別委員会からの提言書への対応について

令和6年度の議会改革・議会広報改革特別委員会において、各特別委員会から提出された提言書に対する報告を求めることを決定しており、報告時期やどの程度の内容にするかなど、詳細な報告方法について協議を行いました。

答

スポーツ推進委員やスポーツ協会等の関係団体と協力しながら、誰もが親しめるスポーツとして、モルックをはじめ、様々なインクルーシブスポーツの普及に取り組んでいきます。

答

利用者の利便性という視点は重要。管理者である国とも協議しながら、河川敷にある施設としての特殊性を踏まえ、設備の修繕、更新、新規設置等の対応を図っていきます。

問 ボッチャに続くインクルーシブスポーツとして、モルックの普及促進を提案する。

答

ハード面の整備を計画的に進めていくことは重要。優先順位を総合的に検討し、修繕や設置の可否、耐用年数を勘案し、計画的な修繕に取組んでいく方針です。

問

「墨田区スポーツ推進計画」の着実な推進のためには、ソフト面の充実に加えて、ハード面の整備についても計画的かつ戦略的に進めていくべき。

スポーツ推進に関する 施策について



大門しろう議員



動画は
コチラ